



## 全国からみた沖縄県の特徴

～ 「100の指標からみた沖縄県のすがた」より ～



今年、約3年半ぶりに「100の指標からみた沖縄県のすがた(平成23年版)」を発行しました。当冊子は、沖縄県を表す基本的な指標として、自然環境、人口、産業・経済などの各分野から100項目を選定し、全国における沖縄県の位置を表したものです。

人口 6- 人口増加率

都道府県名	順位	平成22年3月31日 調査時点指標値
全 国		0.01
沖 縄	1	0.60
東 京	2	0.49
神 奈 川	3	0.42

単位: %

人口 6- 合計特殊出生率

都道府県名	順位	平成21年 調査時点指標値
全 国		1.37
沖 縄	1	1.79
宮 崎	2	1.61
熊 本	3	1.58

単位: -

人口 6- 死亡率(人口千人対)

都道府県名	順位	平成21年 調査時点指標値
全 国		9.1
沖 縄	1	7.2
神 奈 川	1	7.2
埼 玉	3	7.4

単位: -

人口 8- 年少人口割合

都道府県名	順位	平成22年3月31日 調査時点指標値
全 国		13.42
沖 縄	1	17.89
滋 賀	2	15.22
愛 知	3	14.66

単位: %

労働 29- 新規大学卒業者無業者比率

都道府県名	順位	平成22年3月 調査時点指標値
全 国		14.10
沖 縄	1	30.39
熊 本	2	19.56
長 崎	3	18.46

単位: %

労働 29- 離職率

都道府県名	順位	平成19年 調査時点指標値
全 国		5.2
沖 縄	1	7.7
北 海 道	2	6.4
高 知	3	6.3

単位: %

上記の表は、沖縄県が全国1位の項目(全21項目)の中から6項目をピックアップしたものです。人口増加率が高く、生まれてくる子供の数も多い。また、死亡率の低さや若い世代の人口も多い事から沖縄県は全国の中で最も潜在的成長力の高さを示しているのではないのでしょうか。

一方、新規大学卒業者無業者比率や離職率が高い事から、厳しい雇用環境、労働環境におかれている一面もあると言えるでしょう。



人口 12- 離婚率(人口千人対)

都道府県名	順位	平成21年 調査時点指標値
全 国		2.01
北 海 道	45	2.24
大 阪	46	2.40
沖 縄	47	2.60

単位: 件

産業・経済 15 県民所得(1人当たり)

都道府県名	順位	平成19年度 調査時点指標値
全 国		3,059
宮 崎	45	2,152
高 知	46	2,114
沖 縄	47	2,049

単位: 千円

産業・経済 16- 製造業構成比(対県内総生産)

都道府県名	順位	平成19年度 調査時点指標値
全 国		21.23
高 知	45	8.90
北 海 道	46	8.16
沖 縄	47	4.49

単位: %

労働 30- 完全失業率

都道府県名	順位	平成21年 調査時点指標値
全 国		5.1
大 阪	45	6.6
青 森	46	6.8
沖 縄	47	7.5

単位: %

生活・環境 34- 年間平均収入(二人以上世帯)

都道府県名	順位	平成21年11月 調査時点指標値
全 国		6,482
高 知	45	5,444
鹿 児 島	46	5,158
沖 縄	47	4,515

単位: 千円

教育・文化 67- 大学等進学率

都道府県名	順位	平成22年5月1日 調査時点指標値
全 国		54.3
北 海 道	45	40.9
岩 手	46	40.0
沖 縄	47	36.9

単位: %

次に、全国47位の項目(全30項目)の中から一部をみると、離婚率が全国一高い結果となっています。

また、県民所得が低く、製造業構成比の比率も低い事から産業構造の弱さもみてとれます。

さらに、完全失業率の高さや世帯当たりの年間収入の低さから、依然として厳しい雇用環境、家計状況にあるようです。大学進学率も依然として低い状況です。

全体的にみると、人口に関する分野に1位の項目が多く、産業・経済及び労働の分野に47位の項目が多くなっています。

産業・経済や雇用が厳しい状況にあっても、人口や世帯の増加、合計特殊出生率の高い沖縄県においては、その分伸びしろが大きく、今後の経済成長に大きな期待が持てそうです。

詳細は下記を参照

100の指標からみた沖縄(Web版) ( [http://www.pref.okinawa.jp/toukeika/100/100\\_index.html](http://www.pref.okinawa.jp/toukeika/100/100_index.html) )